

## 令和5年度第2回住吉区区政会議

1 日時：令和5年9月7日（木） 午後6時30分～午後8時14分

2 場所：住吉区役所4階 大会議室

3 出席者

委員：荻野聡委員、桶土井晴英委員、鍛冶本七重委員、繁田文三委員、島谷裕美子委員、菅原正二委員、田中貞夫委員、谷山圭子委員、佃井敏通委員、辻野けんま委員、中野薫委員、浜田眞里子委員、濱本牧子委員、東美智代委員、福留千佳委員、梶野隆平委員、山本讓委員、渡邊博彦委員、和田勅子委員

区役所：平澤宏子（区長）、樋口幸生（副区長）、田中斉（総務課長）、中野泰裕（政策推進課長）、山田美奈子（教育文化課長）、小林資明（地域課長）、小西宏樹（保健福祉課長）、稲岡訓規（生活支援課長）、福田利明（保健子育て担当課長）、山尾貴彦（住民情報課長）、柴田純男（保険年金課長）、仲間いずみ（保健主幹）、北野陽一（政策推進課長代理）

4 議題

（1）報告事項

- ・令和5年度第1回地域福祉専門会議について
- ・令和5年度第1回住吉区防災専門会議について

（2）協議事項

- ・住吉区将来ビジョン2028（素案）にかかる意見聴取について

5 発言者及び発言内容は以下の通り

【北野（司会）】 皆さん、こんばんは。ただいまより、令和5年度第2回住吉区区政会議を開催いたします。

本日はお忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます政策推進課長代理の北野でございます。よろしく願いいたします。

それでは、開催に当たりまして、平澤区長よりご挨拶申し上げます。

【平澤区長】 皆さん、こんばんは。住吉区長の平澤です。平素より住吉区政にご理解、

ご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。また、委員の皆様には今年度におきましては、区政会議に加えまして、将来ビジョンの策定につきましても集まって議論いただきまして、本当にありがとうございます。

将来ビジョンに関しましては、委員の皆様の日頃の地域活動でのご経験、ご知見に基づく大所高所からのご意見をいただいたところでございます。本来であれば先月に第3回のビジョン検討会を開催いたしまして、素案をご提示すべきところでしたけれども、こちらの作業のほうに時間を要しまして、区政会議でご意見をいただくという形にさせていただきました。ご多忙の中、ご日程を確保していただいておりますのに中止ということになりまして、この場をおかりしておわびを申しあげたいと思います。

素案の内容につきましては、後ほど本日の協議事項ということでご説明もさせていただきました上でご意見をいただきたいと考えております。前回の会議でいろいろいただきました意見、住吉区ならではのそういった特色も出していくべきではないかといった意見につきましても、やはりそういった取組、時代に合わせてアップデートしながら取り入れていくべきということは私どもも考えておりましたので、そういった中身も修正案のほうには反映させていただいておりますし、また、具体的な取組につきましても、ビジョンではなかなか分かりづらいところもあったかと思いますが、委員の皆様のご意見を踏まえて、具体的な取組はそれはそれで進めてまいりたいと考えておるところでございます。

本日、事前に将来ビジョンにつきましてもお示しいたしまして、事前の意見というのは今のところ承ってはおりませんが、今まで皆様方の意見を踏まえて作成してきました経過もございますので、本日のこの場でご意見を賜れば幸いに存じます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

【北野（司会）】 それでは、会議を始めるに当たりまして、皆様方にお願いがございます。この区政会議は条例に基づく会議となっております。後日、会議録等を公開いたします関係上、録音並びに写真撮影をさせていただきますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

また、大阪市ではデジタルツールを最大限活用した区政会議の推進の取組の1つとして、区政会議の様子をYouTubeにて公開するWeb傍聴の実現をめざしております。今回の第2回区政会議につきましては、会議終了後、区ホームページのYouTubeに公開する予定でございます。個人のプライバシーに関することや、個人に対する中傷的な発言など、そのまま発信することが妥当でないと判断した場合については、動画の編集を行

い、発言を修正、削除して会議録を作成することがあります。

なお、第3回区政会議以降はライブ配信を行う予定ですので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

続きまして、市議員の皆様におかれましては、条例第8条に区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができるかと規定されております。本日はまだお越しになられておりませんが、お越しいただきましたら、またご助言なりをいただきたいと考えております。

ここで本日の委員の出席状況ですが、委員定数24名のところ、現在19名がご出席いただいております。条例第7条による定足数であります定数の2分の1以上を満たしていることをご報告させていただきます。

それでは、以降の区政会議の議事進行を辻野議長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

**【辻野議長】** 議長の辻野です。どうかよろしくお願いいたします。

それでは、本日の進め方をご説明いたします。まず、報告事項から1点目、令和5年度第1回地域福祉専門会議、2点目の令和5年度第1回住吉区防災専門会議につきましては、会議の概要を報告させていただきます。

次に、協議事項の住吉区将来ビジョン2028（素案）について概要を説明させていただきます。その後、区政会議委員の皆さんからご意見を承りたいと思っております。なお、事前に委員の皆様からのご意見は特にございませんでしたが、ご説明後に改めまして質疑の時間を設けさせていただきます。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただいております資料の右上に番号をつけております。配付資料として①から⑤まであります。また、事前にお送りできておりませんでした追加の資料として、配付資料⑥「第2回将来ビジョン検討会での各グループからのご意見 要旨」、⑦「令和5年度第1回住吉区区政会議での意見等一覧」を机の上に置いております。

配付資料⑦につきましては、前回の区政会議でいただきましたご意見への対応方針を記載しております。本日での会議では使用いたしませんので、お持ち帰りいただき、ご一読をお願いいたします。お配りしている資料の不足等はございませんでしょうか。大丈夫でしょうかね。

本日の会議は20時までを予定しております。できるだけ円滑に進行したいと思いますので、

またよろしく願いいたします。

先ほどY o u T u b eの配信等とありましたけども、今回は第2回ということで会議後に配信して、失言なんかはないと思うんですけども、あった場合には編集していただけるということなんですけど、第3回以降はライブ配信ということになっていますので、緊張するところではありますが、どうかよろしく願いいたします。これは市の方針なんですかね、全体の方針ということで、区独自判断で何かというわけではないみたいなんですけれども、どうかご協力のほどをよろしく願いいたします。

また、事前に伺っていたところでは、前回の会議で「学校の窓ガラスが割れた」という話があったんですけども、その後、ご発言いただいた委員の方がご確認いただいて「それは事実ではなかった」ということでご報告をいただいたそうなんです。我々やっぱり委員も情報のアクセスに関しては素人の立場であるので、なかなか事実確認はすごく難しいと思うんですけども、なるべく事実ベースでディスカッションはしたいと。特にY o u T u b eのライブ配信になると不特定多数の方がご覧になるということがあるので、我々自身もそういうところをちょっと気をつけていきたいと思うんです。

あまりそこに気をつけ過ぎると何も発言できなくなるという面もありますので、ライブ配信した後に事実と違う情報があったなということがあれば、今回のようにご報告いただいたりとかしたらウェブに注記いただくとか、そういう訂正をさせていただくというような最大限の配慮をしたいと思っておりますので、申しあげたいことは2つで、なるべく事実ベースで意見交換がしたいということなんですけども、それにも限界がありますので、実際にアクセスできるほどのネットワークを我々は持っているわけではありませんので、その辺りは適宜、情報を確認しながら事後に訂正するとか、そういう配慮を最大限していきたいと思っておりますので、あまり皆さんも発言に萎縮されないようにしていただきたいという思いもあります。

また、発言しにくくなったとかいろいろとお悩みが出てきましたら、ぜひお気軽にご意見、ご感想等をお寄せいただきたいと思います。なるべく情報が公開されて、いろんな方々がそういう議論に関心を持っていただいて、視聴いただくということが希望ではあるんですけども、不特定多数でやっぱり情報が独り歩きするということもありますので、その辺りは皆様とご相談しながら、工夫して進めていきたいと思っている次第です。どうかよろしく願いいたします。

それでは、議事にこれから入っていききたいと思っておりますので、まず、報告事項となります。

区役所より説明をお願いいたします。

【小西保健福祉課長】 保健福祉課長、小西です。いつもお世話になっております。

私のほうから報告事項1点目、令和5年度第1回地域福祉専門会議についてご報告いたします。配付資料③をご覧ください。座らせていただきます。

日時が6月29日木曜日、午後6時から午後8時までということで、区役所大会議室で開催をいたしました。議題としましては報告事項が2点で、住吉区地域見守り支援システムの進捗状況について、もう1つが地域座談会の開催状況についてです。

議事としましては、住吉区地域福祉ビジョンVer.2の総括評価と改訂についてということで、グループワークを開催しております。課題は2つということで、子育て支援、地域での子どもを見守るための専門職とのつながり、もう1つが、地域の話し合いの場の活性化ということでございます。議事要旨につきましては、まず、地域福祉ビジョンVer.2の委員評価を受け、それに対しての実施者の考え方についての説明をさせていただきました。

グループワークにおいては多数の意見をいただいております。主な意見としましては、1つ目の子育て支援につきましては、子育て支援に関して、専門職がいろいろいらっしゃるんだけど、誰が支援してくれるのか分からない、顔の見える関係ができていないというところ。そして、まず、ファーストタッチ、相談したくてもどこに相談したらいいのか分からない。

次に、子どもの意見をどうやって聞けるか。どうやってそのために既存の仕組みを上手に活用すればいいのか。そして、子どもを中心とした子どもの在り方について、次期ビジョンに組入れていけないかといったご意見をいただきました。

2点目の地域の話し合いの場の活性化につきましては、話し合いの場は非常に重要である。地域の会議に行政や専門機関等に参加してもらって、そこで出たことがすぐに地域にフィードバックしていける、そういう会議が定着していけばいい地域になると。また、若い人たちに興味を持ってもらえるような事柄が必要だと。防災や防犯なんかは興味があるというようなところも発信していけたらいいのではないかと。

次に、地域で肩肘張らずに集まれる場、そういう場の持ち方をどうやって取り組んでいくかを考えていく必要があるというご意見をいただきました。

今後の開催日程としましては、第2回が11月2日、第3回が来年の2月22日を予定しております。

報告事項の1点目は以上でございます。

【辻野議長】 報告事項につきまして、何かご意見やご質問等ございませんでしょうか。

それでは、一旦先に進めさせていただいて、また、後ほど皆さんのほうからご意見をいただく時間を設けたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

では、次の事項のご報告をお願いいたします。

【小林地域課長】 いつもお世話になりありがとうございます。地域課長の小林と申します。私のほうからは報告事項の2点目、令和5年度第1回住吉区防災専門会議についてご説明させていただきます。配付資料の④をご覧ください。

日時につきましては、令和5年7月5日に実施させていただきました。真ん中辺りの6番、議事要旨をご覧ください。報告事項といたしまして3点ございまして、1点目が令和4年度第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針についてでございます。防災への女性の参画状況につきまして、現在の防災リーダーに占める女性の割合ですが住吉区は14%という形になっております。大阪市は30%をめざしていますので、今後も引き続き防災リーダーへの登用だけではなくて、町会活動への参加を含め、地域の皆様方に働きかけていく旨の説明をさせていただきました。

2点目といたしまして、6月2日の大雨警報に係る対応の経過についてご説明させていただきました。当日は18か所の避難所を開設準備いたしました。自主避難者といたしましては、12人いらっしゃいました。地域の皆様方には避難所の開設準備にご尽力賜りまして、本当にありがとうございます。その中で大和川周辺以外の住民に対して情報が伝わり切れていないとのご意見がございまして、警戒レベル3が発令されれば青色防犯パトローカーや消防車両、また、区役所のホームページやツイッターなどを用いて、住民への周知をさせていただきたいと考えております。

3点目といたしまして、大和川に係る避難情報発令基準水位の見直しについてということで、堤防のかさ上げだったり、大和川の土のしゅんせつ等に基づきまして、少し警戒レベル5の水位が変わりました。6.19から6.69の高さに変更があったということをお伝えさせていただきました。

裏面をご覧ください。議題といたしましては、1つ目、令和5年度防災の取組についてということで、大和川氾濫等の水害に備えた取組や新型コロナウイルス感染症の5類移行後の避難所運営、女性の視点を踏まえた避難所運営など、11項目について説明を行いました。

また、アフターコロナを見据えた避難所運営として、せき、くしゃみ等の症状がある方に対しては、やはり重症化リスクの高い方への感染防止のためにマスクの着用をこれまで同様にしていただく必要があるというようなお話をさせていただきました。

また、各避難所に配備させていただくタブレットについて、どういうアプリがインストールされているかという意見に対しまして、大阪市防災アプリであったり、住吉区が独自で導入している防災情報システム「iisumi」などを入れさせていただいている旨、お話をさせていただき、まずは職員に対してその活用訓練を今のところ実施させていただいているという説明をさせていただきました。

2点目といたしまして、令和5年度住吉区総合防災訓練についてでございます。

今年度も11月の第2土曜日、11月11日に実施させていただく訓練について、昨年同様、一般住民の参加を募り、アフターコロナを見据えた町会一時避難場所や災害時避難所の開設運営訓練を実施させていただきたいと考えております。また、昨年に引き続きまして、女性の視点を踏まえた避難所運営についても重点項目として実施させていただきます。熱、せき等の症状のある方につきましても、療養者のスペースであったり、福祉避難室を活用していただくなど、地域のほうでも工夫させていただきたいと思っておりますので、ご尽力いただきますようによろしくお願いいたします。

3点目といたしまして、災害発生時における避難所開設基準ということで、地震が起こった場合、風水害、大和川の氾濫等に備える場合と台風における自主避難の場合というそれぞれ3つの避難方法があるんですけれども、その避難所の開設基準について説明をさせていただきました。

台風接近時に区内14か所の小学校を開設するというような形で今のところ考えておるんですけれども、実際、今回の大和川の氾濫のときも平日の日中で授業中であったというようなこととかもありますので、学校の生徒のこととかも考えたりとか、職員が勤務中であったということで、なかなか職員が駆けつけられなかったというようなこともあり、まずは、区民センターや区役所に近い南住吉小学校の1か所だけを開設してはどうかというような意見もありましたので、そういうことに対して検討してまいりたいということで、今後、開設基準を皆様方の意見も踏まえて変更する場合がありますので、そういった場合は皆様にお知らせさせていただきますので、よろしく申し上げます。

以上でございます。

**【辻野議長】** それでは、報告事項につきまして、ご意見、ご質問等ございませんでし

ようか。よろしいでしょうか。そしたら一旦先に進めさせていただきまして、いよいよ協議事項に入っていきますので、本日のメインの議題となっていくと思います。

住吉区将来ビジョン2028（素案）についてということになります。せっかく今回久しぶりに皆さん3つに分かれてではなくて全体の間になっていきますので、よろしければこの後、議題に関しては一言ずつコメントをいただけたらうれしいなと思っているんですけども、必ず絶対発言してくださいということではないんですが、せっかくなので回していきたいと思いますので、特に発言がなければパスということでもいいですけど、ぜひコメントをいただけたらうれしいなと思います。よろしく願いいたします。

そしたら区役所のほうからご説明をお願いいたします。

【中野政策推進課長】 政策推進課長の中野でございます。私から、将来ビジョン（素案）について説明をさせていただきます。配付資料⑤をご覧くださいと思います。

前回の第2回ビジョン検討会議で皆様方からたくさんご意見をいただきました。その内容は配付資料⑥のほうにまとめさせていただいておりますが、この配付資料⑤に沿って皆様方からいただきましたご意見をまず説明しながら、資料に沿っていただいたご意見を反映して修正した内容や、また、ご意見に対する区の対応方針などを説明させていただきたいと思っております。

ではまず、配付資料⑤の将来ビジョンについてです。資料全体につきまして、前回、検討会議でお示しさせていただいたものは取り組む施策を中心に記載したものでしたが、今回の素案につきましては、ページ数も増えておりまして、表紙をめくっていただきますと「はじめに」、その裏に将来ビジョン策定の考え方、そして、15ページ以降に巻末データとして住吉区の概況や各種データを追加いたしました。

また、1ページ以降の4つの柱立てに基づく施策の方向性について、こちらは皆様方からいただきましたご意見を基に修正等を加えた部分については、赤字で記載しております。また、後ほど順番にページに沿って説明をさせていただきます。

それでは、内容について皆様方からいただいた意見を説明させていただきたいと思えます。

まず、資料全体について、将来ビジョンと運営方針との関係、指標設定について、前回の検討会議で委員の皆様方からご意見をいただきました。

まず1つ目、「成果指標について、区民意識調査の聞き方にもよるが、その成果が意識調査のパーセントに結びつくのが非常に難しいという項目がある」と、「パーセントの割合で

はなくて、実施件数や実施したときのアンケートの数値で見たほうがいいのではないか」とか、「この将来ビジョンは分かりやすいけれども、詳しい取組が分からない。将来ビジョンの中身は具体的な方策が載っていないので、この後に方策を入れないと分かりづらい」こういったご意見をいただきまして、このご意見に対する区役所の考え方を説明させていただきたいと思います。

将来ビジョンは、区のめざすべき将来像とその実現に向けた施策展開の方向性を取りまとめ、区政を推進していく上での理念を区民の皆さんに明らかにするための指針として策定させていただいております。一方、この将来ビジョンの計画期間の単年度のアクションプランである運営方針は、ビジョンのそれぞれの柱にひもづく施策や取組を具体的に計画、実行、評価するためのマネジメントツールとして、この将来ビジョンの柱は運営方針の重点的に取り組む経営課題として毎年度評価を行っていきます。

運営方針の評価については、大阪市の運営方針策定評価要領に基づきまして、測定側の主観を取り込まないデータであることに留意し、客観的、定量的に測定できる数値設定を行っております。一方、内容によって適切な指標が設定できない場合は、実施件数等の定性的な目標、活動指標の設定が可能となっております。今回のビジョンでも、大学・NPO・企業・個人等との新たな連携や協働が行われている地域数とか、実施件数といった指標設定も試みております。

また、現行の運営方針の具体的取組を評価する指標においても、例えば、区内の小児科医アンケートで「本事業が児童虐待の早期発見につながっている」と回答した割合や「区の支援により学校における教育内容がより充実した」と感じる小中学校校長の割合、こういったアンケートによる評価やキャンペーンの実施件数での評価なども行っております。今後も取組の内容に合わせた適切な指標設定ができるように努めさせていただきたいと思っております。また、運営方針の策定、評価は区政会議にてお示しした上で行うため、また、皆様方の引き続きご意見を頂戴したいと考えております。

では、もう1つ全体的なご意見なんですけれども、前回の将来ビジョン検討会でのご意見として「地域資源の活用の中で、歴史とか文化とか住吉ならではというところが取り入れられるなど思っていたのに、住吉の特徴を捉えた内容にはなっていない。また標準的なものになったのかな」というご意見、あと「挨拶運動のことも入れてほしい」「歴史があるというところをうたいつつ、今こんなまちが出来上がっているということにつなげることは大事なのかなと思う」「住んでいる人たちの魅力みたいなのは大事なのかなと思う」「基

本的に運営は当然民間で回していかないといけないが、行政に手伝っていただけるとしたら、占有許可であるとか、法令的な緩和であるとか」――すみません、今ちょっとお話しさせていただいているところは、1ページめくってもらって「はじめに」のところを見ていただけますでしょうか。

また、続いていきます。「占有許可であるとか、法令的な緩和であるとか、あるいは広報的なこと、またご協力いただくというのがすごくいいことなんじゃないかなと思う」というような意見とか、また「新婚補助を前にやった。結構よかったのになくなってしまった」これは市の制度なんですけれども、こういったご意見をいただきました。

こちら今1枚めくっていただいた「はじめに」の表記なんですけれども、「住吉区らしさ、住吉区の歴史、文化やこれまで進めてきた取組などが将来ビジョンに反映されていない」とのご意見をいただいたところでありますが、こういった内容はこれから区政を推進していくベースとなるものでございまして、将来ビジョンはこれから5年間の区政の方向性を示すことになるため、具体的に示してはいませんでした。そこで、趣旨を明確にするため、考え方を「はじめに」の部分にお示しさせていただきました。また、あわせて「区民意識調査の結果で世代によって関心事が異なっており、自分事になっていないではないか」というご指摘や「多様性の尊重、みんなで仲よく一緒にまちづくりを進めるという趣旨が欲しい」という意見を踏まえた内容も「はじめに」、また、次のページの将来ビジョンの策定の考え方のところにも盛り込ませていただきました。

各事業等に関する具体的な取組内容につきましては、引き続き区政委員の皆さんのご意見をはじめ、様々なニーズや情報の把握に努め、将来ビジョンに基づき計画し、実施をさせていただきますと考えております。

もう1つ全体的なご意見として、前回お示しさせていただきました「区民意識調査の結果が面白かった。住吉区は皆さん便利だと思っている、暮らしやすいと思っている、インフラが整っていて素晴らしいとみんな感じているというのが読み取れました。ただ、30代以下と40代以上で結構意見が分かれるなと思いました」というご意見。「30代以下と40代以上でちょっと意見が分かれている傾向があるので、将来ビジョンは全体の意見としてつくっていただきたい」あと「多様性だとか、暮らしやすいというまちになったらいいというのは、みんなで仲よく取り組むよというようなことが感じられるような表現が中にあるのもいいのではないか」といったご意見もいただきました。

今と同じように将来ビジョン内の「はじめに」の部分に前提となる考え方として、幅広

い世代・分野の住民が多様な課題を“自分事”として、ともにまちづくりを進めていくことをめざし、4つの柱（方向性）を設定しましたという記載をさせていただきました。

では、1ページ目を開けていただきたいと思います。柱1の①地域のつながり・コミュニティの強化、ここで修正した内容というのはないんですけども、この項目の部分でもたくさんご意見をいただきましたので、紹介、説明させていただきます。

地域のつながり・コミュニティの強化の部分につきまして、区民意識調査の結果について、住吉区に継続居住したい理由について「地域のつながりがあるから」と回答する人が9.7%いらっしゃいました。「そういった人たちを大切にしていきたいと思いつながりをどのようにしてつくっていけばいいのか悩ましい」というご意見とか、町会に加入していない理由について「人間関係が煩わしい、若い人も含めて関わりたいなと思えるコミュニティの在り方が変わっていきつつあると思う。そういったことについて、意見交換できたらありがたい」というようなご意見をいただきました。

区としての考え方について述べさせていただきます。若年層の町会加入率や地域活動への参加率が下がっていることから、社会情勢の変化とともに区民が求めるつながりというものに変化があると考えられるため、引き続きニーズの把握に努めるとともに、ご提示いただいたような若年層と地域コミュニティの在り方についての意見交換の実施など、これからのつながりづくりについて検討していきたいと考えております。

また、次の意見で、「子育てサロンを開いているが、小さいお子さんを持った方が親同士のつながりをつくるために来られている。もっと発展させるのは1つの手かと思う。お年寄りもいれば若者もいるような祭りをつくったらどうかと思う。それをきっかけにコミュニティもできてくる」こちらにつきまして、つながりの場づくりをはじめとした地域活動に関する具体的な取組については、いただいたご意見も参考にしながら、引き続き検討を行い、将来ビジョンに基づいて実施させていただきたいと考えております。

また、次のご意見で「町会の取組は広報に載っていない。町会のよさとか、町会の仕事の紹介がない。町会のよさ、町会が必要という理由を知らしめなければならない」というご意見。こちらに関しては、区の広報紙について3年度と4年度は「あなたの町の地活協」と題して、地活協の活動を年4回取り上げました。「地域のために地域の人とともに」と題して、また、ペットボトル回収や地域の広報紙の発行など、地域の活動について取り上げました。

5年度については、それに加えて各町会の活動を紹介する「町会タイムズ」と題した記

事の掲載を予定しており、9月号では町会の歳末夜警防犯活動の取組も掲載させていただきました。引き続き区政委員の皆さんのご意見をいただきながら、より効果的な地域の情報発信については検討を行っていきたいと考えております。

その他、この項目に関するご意見で「街灯は町会の会費から、監視カメラも地域で置いているものもある。町会に入っていない人はそれを分かっていないのではないか」というようなご意見とか、「地域活動協議会ができた加減で住んでいたら、全員が一定の地活協からの恩恵を受けられる部分と、町会の会員でないと受けられる恩恵の部分の差がなくなってきた。町会に入っていないなくても地活協から敬老の祝いとかがあるので、町会がぼやけたなというのはこの10年ですごく感じました」というご意見をいただきました。

これに関して地活協の仕組みや活動について、より多くの区民が知り、その理解が深まるよう地活協広報紙の発行や、ICTを活用した情報発信の支援を継続するとともに、区においても広報版ホームページ、SNSを活用して、各地活協の活動情報を継続的に発信していきたいと考えております。

また、町会加入の促進については、現在も子ども向けの健診時や子育て世代が多く集まるイベント、マンション防災講座、転入パックへ町会加入のメリットを打ち出したチラシを同封するなど周知啓発に取り組んでいるが、引き続きより効果的な啓発方法について検討を行っていきたいと考えております。

では、2ページ目、地域ごとの特色ある活動の展開、こちらのほうも何点かご意見をいただきました。

まず、自主財源の確保という文言について、対応策のところ、前回は「自主財源の確保」という表現をしていました。「公的支援をやらないと読まれないように書いたほうがいいのでは」というご意見をいただきました。それに対する対応として、地域活動協議会補助金については、地域活動協議会の下で行われる活動に対し、その活動の公益性や用途、成果をチェックすることを前提に活動内容を限定せずに補助限度額を提示し、具体的な活動内容は地域の選択に委ねる自由度の高い補助金としておりまして、地域の主体的な活動を促進するものとして考えております。また、地域活動のコミュニティビジネス化、ソーシャルビジネスの促進や民間助成制度の周知など、本市としては地域活動の活性化と自主財源の確保が図られるよう積極的に支援を行うという方向で進めております。

前回お示した文言では、公的支援をやらないという見え方になるとのご指摘と受け止めておりまして、誤解を生じない表現となるよう「財源確保」に文言を変更させていただきました。

きました。変更箇所はここだけなんですけれども、あと2点ほどご意見をいただきました。

町会の加入率の話も出てきて、町会費の使い道だとか町会に入ると得だよ、町会の活動が見える化して、いろんな情報がきちんと届くような仕組みを具体的にに入れても面白いのではないかと。ご指摘いただいた内容につきましては、対応策内の組織運営や財源確保、情報発信などについて、地域の実情に応じたきめ細かい支援を行うに該当し、具体的な取組については、将来ビジョンに基づき検討、実施させていただきたいと考えております。

またもう1つ「区役所と地域活動協議会だけで話し合っているだけでなく、地域、町会に情報をおろしていかないといけない。地域団体と色々な主体が交流できるコミュニティが実現すればよい」といったご意見もいただきました。具体的な取組については、いただいたご意見も参考にしながら、引き続き検討を行い、将来ビジョンに基づいて実施していきたいと考えております。

では、次の3ページに移っていただきたいと思います。

こちらは多様な団体・企業等との協働の項目です。この項目につきましてもご意見をいただきまして、「成果指標、全地域で何々という目標にすると1つ1つの質よりも、取りあえず全ての地域が連携することが大事となってしまうのもよくないのではないか」というご指摘を受けました。

おっしゃるように客観的、定量的に測定できる数値設定を行っていますが、ご指摘いただいたように形だけの連携ではなく、持続的に地域活動が実施できる状態につながる連携を増やしていくことが重要であり、再検討を行い指標を変更させていただきました。赤字になっている大学・NPO・企業・個人等との継続した連携や協働を3件以上行っている地域、2028年度までに全12地域と変更、修正を行いました。

また、「このページのめざす状態について、どこと連携したらいいか地域は分からないため情報を提供してほしい」といったご意見もいただきました。政策推進課が窓口として企業等からの事業連携提案を受け付け調整を行うほか、地域課を通じ地域への情報提供は適時行っていきたいと考えております。

では、次のページに移りたいと思います。4ページ目をご覧ください。

公共と民間との協働、こちらも「成果指標、市民の人が見たときに少ないなという印象を覚える可能性がある。何件ありましたという数値より、どんな内容の連携をするかで総括されたらいいのかなと思う」といったご意見をいただきまして、こちらも客観的、定量的に測定できる数値設定を行っていますが、対応策について単に連携するだけでなく、

パートナーとして継続した連携によるまちづくりの実施を行っていく旨の文言に修正させていただきました。対応策の赤字で修正している部分でございます。

では、次の5ページにお進みください。

**【梶野委員】** 非常に丁寧に説明されているので、前回の意見の反映もよく分かるので非常にいい説明だと思うんですが、この調子で二十何ページ進んでいきますと頭のキャパが超えてしまうので、一つ一つに区切っていただけませんかでしょうか。

**【辻野議長】** ありがとうございます。

我々も全部まとめて説明を受けるとあれなので、一旦ここまでで何かご意見、ご質問等確認のことも含めてありましたら遠慮なく出していただくということで、区役所の皆さんよろしいですか、一旦挟ませていただいて。

どなたでも結構ですので、確認、質問、ご意見、ございますでしょうか。

**【梶野委員】** 前回のいろんな意見、何人か複数で出たと思うんですけども、住吉区らしさがちょっと飛んでいるのではないかということで、それは「はじめに」のところで大前提として書いてあるから、そういう精神でやるからいいんだよというようなご説明だったと思うんですけども、やはり4本の柱の大きな中に前回のビジョンでは入っていたのが抜けるということになると、やっぱり全体の背景の思想としては分かりますけれども、ちょっと軽視されているという感はどうしても拭えません。

それと1番の3と4、これは具体的な指標なんかでも分かるんですけども、私にとってはほとんど同じようなことを表現をちょっと変えて言っているとしか思えない点がありまして、あえてここを強調するということは、ここを非常に大事にしているよと受け取れるんですけども、そういう考え方ということで理解してよろしいのでしょうか。

**【辻野議長】** いかがでしょうか。

**【平澤区長】** 区長の平澤です。前回のビジョンの検討会におきましても、住吉区らしさであるとか、住吉区でこの間取り組んできた取組と、そういったものがやはりビジョンの柱に入るべきではないかというご意見、ほかの委員の方からも多数いただいたところがございます。その点につきまして、どのように反映していくかということで内部でもいろいろ検討させていただきました。ビジョンの4本の柱全てに共通するもの、4つの柱のベースになるものと我々も考えておりますので、柱の1つに立てるというよりは、大前提としてこういった考え方があるよという示し方をさせていただいて、その上で2028年に向けましてはこの4本の柱で今までの住吉区の取組をベースとしながら、取組を発展させてい

くという趣旨の形で書かせていただきたいということで、今回「はじめに」の部分に盛り込んで4本柱を設定するという形にさせていただいたものでございます。決して軽視しているということではございませんで、全ての4つの柱の根底にあるものという意味合いで「はじめに」の部分で触れたとご理解いただければ大変幸いに存じます。

また、1の3と4につきましては、これから行政だけで全てやっていける時代ではないという中で、地域活動におきましても、行政におきましてもいろいろな民間とも連携を進めながら区民の生活の質の向上を図っていく必要があるという意味では、非常に今後の5年間で重点を置いていく必要がある部分と考えておりますので、3と4でちょっと似た部分はあるんですけれども、地域という部分での連携と行政がやる連携という意味合いで2つ立てるという形を今回は取らせていただいているところでございます。非常にこの辺、重点的に取り組んでいく必要があるという意味合いで2つ設定をさせていただいたというところでございます。よろしく申し上げます。

【辻野議長】 いかがでしょうか。どうぞ、お願いします。

【山本委員】 山本です。質問というか意見になってしまうんですけれども、すごくいい「はじめに」とビジョンについてだなと思っていてまして、特に赤字で書かれている部分、幅広い世代・分野の住民が自分事としてというところであるとか、あるいは持続的な地域活動が行われる豊かな地域コミュニティであるとか、誰もが生きやすい社会とか、こういう言葉が入っている町で子どもを育てていけるというのは非常にありがたいことだなと思って安心したところではございます。

ちょっと具体的な話で言いますと、例えば、1の4番とかで言うと、公共と民間との協働というところで、私がまた9月の末に、自分のところであれですけども、万領中央公園のほうでイベントをさせていただきます。そちらとかも区役所、地域課、小林課長をはじめ皆様非常に協力していただきまして、何とか第1回が開催できそうだというところで、それがいわゆる持続可能な運動になっていけばいいなと個人的には思っておりますので、何かそういったところの支援をこういった内容で表現していただいているのかなと理解しておりまして、重ね重ねになりますが非常にいい内容だなと思って安心したところでございます。ありがとうございます。

【平澤区長】 区長の平澤です。ご意見いただきまして、ありがとうございます。

今回、新たに5年後に向けてということでのビジョン設定にしておりますので、ちょっと新しい視点を入れてみたいという部分もございまして、こういった書き方をさせていた

だいておるところでございます。また、住吉区らしさとか、この間住吉区で取り組んできたいろんな取組につきましては、今後このビジョンに沿って具体的な取組を進めていく中で、いただいたご意見を踏まえて具体的な取組を進めていくことになろうかと思っておりますので、ビジョン検討会、今日も榊野委員からいただいたご意見は今後の具体的な取組を推進していく上で参考にさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

【辻野議長】 いかがでしょうか、一旦先に進めさせていただくということにしまして、引き続きご説明、なるべくかいつまんでということをお願いいたします。

【中野政策推進課長】 5ページをご覧ください。

5ページの指標のところ「生きづらさを抱えた社会的少数者などが孤立し」という表現でしたけれども、「社会的少数者の言葉の工夫が必要」というご意見をいただきました。こちらは「生きづらさを抱えた社会的少数者」を「生きづらさを抱えた人々」という表現に変えさせていただきました。

それから、次の6ページは修正箇所もご意見もございませんでした。

7ページをご覧ください。

こちら成果指標のところでございます。「地域の防災力が向上したと感じる」と回答する割合、この「向上したと感じる」について「その地域に防災力が備わっていると感じる」と書き方を変えるべきではないかというご意見をいただきまして、そのように成果指標を変更、修正させていただきました。

次に、8ページでございます。

8ページはもともと成果指標が2点ございました。「目標設定や成果設定は増える一方になるから、1つにまとめるか質的に評価するような感じにするとかされたほうがいいのではないか」というご意見をいただきまして、「住吉区の治安がよいと感じている」と回答する割合（区民意識調査）の1件とさせていただきました。あと、対応策のところ「子ども」とか「児童」という言葉が混在しておりましたので、こちらは「児童」という言葉を「子ども」に変更いたしました。

次のページ、空家のところをお願いいたします。

空家対策につきましては、「1本目の柱と2本目の柱、どちらにも関わってくると思う。空家対策は大きく2つあって、危険空家に対しての対策と地域の資源、地域の活力のために使うのとどっちもある。利活用の面でいくと、空家を活用する人はそんなに資本がない

はずなので、そういう人に対してきめ細かい支援をするみたいなところが1本目の柱とも関わってくると思うと。空家の持ち主への支援や活用側への支援、仲介不動産への支援が必要」というご意見をいただきました。

委員のご意見の地域活性化の視点に立った空家の活用については、空家の発生予防、抑制における手段の1つと認識しております。大阪市には、空家利活用改修補助事業という制度がございまして、その中に地域まちづくり活用型の補助制度というのがございます。これは空家を地域に開かれた居場所として活用する場合に改修工事など費用の一部を補助する制度でございまして、空家になった商店を子どもから高齢者まで世代を超えた交流の場へ転換した例などもございます。

この空家対策については、市の制度とか民間などを活用しながら、民間企業、団体とも連携しながら進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、10ページのほうにお願いいたします。こちら子育ての支援の項目に入ります。

**【辻野議長】** さらに時間をまいていただけますでしょうか。なるべく議論の時間に取りたいと思いますので、お願いします。

**【中野政策推進課長】** こちらのほうは子育てに対する様々なご意見をいただきましたので、修正箇所はございませんが、子育てに関する相談や情報提供窓口の認知度がまだまだ低く、めざす状態を実現するためにまずは認知度向上に取り組むことが重要と考えておりまして、当該指標を設定いたしました。

では、12ページへお進みください。

こちら学校・学びの支援について、「学校の先生方が大変であるので先生をサポートしてほしい」というようなご意見もございまして、こちらのほうは学校園教育活動支援事業等の事業を引き続き実施していくほか、総合教育会議でいただいたご意見等も検討して、適時事業に反映させていただきたいと考えております。

では、次に4つ目、区政への住民参画の推進、こちらのほうもたくさんご意見をいただきました。こちらは修正箇所はございませんが、ご意見に対して広報機能の充実については、区政への住民参画の推進の中の情報発信の具体的な取組として実施していくと。住吉区ホームページでは、窓口の呼出し状況をはじめ、各種手続、制度等の区政情報発信に努めていますが、レイアウトやページのリンクの組み方など課題はあるため、皆様方からご意見いただきました、若年層や職員の意見を聴取する場を検討して、ホームページ、チラシなど見やすさの向上に努めていきたいと考えております。

では、次のページにお進みください。

こちらは窓口サービスの向上・DX活用促進の部分でございます。こちらの成果指標について「8割以上は高いと思う。接客業でも8割以上の方に満足してもらえない、あらゆる住民がやってくる役所がこの結果を求めるのは難しいのではないか」このご指摘を受けまして、令和元年度が79.3%、令和2年度も74.8%、令和3年度が75.6%という過去の実績を踏まえまして再検討を行い、毎年度75%以上という指標に変更させていただきました。また、区役所窓口サービスの格付で星2つの評価を獲得した年度の満足度が75%以上となっていましたことから、75%が1つの目標となると考えて目標数値とさせていただきます。

資料の説明については、修正箇所等につきましては以上でございます。

あと、この資料全体について説明させていただきたいんですが、将来ビジョンの表紙のページについてでございます。まだ表紙は文字だけになっておりますが、大阪公立大学文学部の文化構想学の研究室の協力を得まして、今そちらの研究室の指導の下、学生さんの協力を得て、学生さんがデザインをしていただいているところでございます。また、10月末ぐらいにはデザインが上がってくると思いますので、こちらの表紙に学生さんのアイデアを活用したいと考えておりますので、ご報告させていただきます。

すみません、長時間説明に時間がかかってしまいまして、以上で私からの説明とさせていただきます。

**【辻野議長】** せかしましたがご丁寧に説明いただきまして、ありがとうございます。

そうしましたら、委員の皆様からご意見をいただきたいと思うんですが、それぞれいろいろとお考えのところあるかと思っておりますので、ちょっと順番に回させていただいて、その後時間が許す限り追加でご質問等を受け付けることができればと思っておりますので、もし今ぱっと思いつくことがなければ次の方へということ結構なんですけれども、ご質問、ご感想、ご意見、何でも結構ですので、ちょっとこの場で言うべきかどうかと判断を迷うことがあれば、ぜひ意見を出していただいたほうがよろしいかなと思うんですよね。それを後でどう引き受けるかということは、情報としてまず出していただくことが大事かなと思いますので、ぜひお願いいたします。

島谷委員からでもいいですか、1つ飛ばしてこっちからでもいいですか、すみません、じゃ、お願いします。こちらから順番にということで一旦お願いいたします。

**【菅原委員】** 私、民生委員の菅原と申します。よろしく申し上げます。

まず、今ちょっと見たんですけども、1の3の多様な団体・企業等との協働ということ  
で話があったんですけども、このようなことを一度どこかでモデルプランみたいなのをつ  
くってみてやってみるといのもどうかと思うんです。やっぱりやってみていいところ、  
悪いところ、いろんな意見とか出るので、1つモデルプランみたいにつくってやってみて、  
そういうことを通じてまた検討していくというのも1つではないかなと。具体的にやっぱ  
りやってみないと我々は分かりにくいし、言葉だけではなかなか分かりにくいところもあ  
りますので、やっぱりやってみるといことも大事ではないかなと思います。私の意見で  
す。

【田中委員】 失礼します。田中です。

僕はいつも行政と協力しようという意向のある団体というのが、結構、区政協力会やら  
いろいろあるんですけど、何か表に出されて協力したいのに、今、委員長さんおられます  
けど、保護司会なんかもどんどん地域と協力しなければいけないのに、協力はしているん  
ですけど、何か外に出されているような気持ちでちょっと残念かなと思っております。

【谷山委員】 あびこ商店街の谷山です。

私は今年度、この4月から初めてこの会議に出席させていただいているんですけども、  
ビジョンを策定するのも初めてだったので、細かいところ1つ1つ意見をすくい取って、  
こうやって冊子をつくってくださっていたのだなというところに私はまずびっくりしまし  
た。すごいことだなと思いました。自分が何ができるかといったら、みんなで作くり上げ  
たこのビジョンを――まだこれで完成ではないんでしょうかね、完成なんですかね、案で  
すか、自分がこれからできることを一生懸命やっていきたいなと思いました。

以上です。

【佃井委員】 佃井と申します。前のときにちょっとあったんですけど、オンデマンド  
バスとかありますやんか、もともと赤バスというのはあったんですけども、いつの間にか  
なくなって、何か都合が悪いようなことを皆さんからお聞きしますけど、大体急性期へ行  
く人が割とちまたで多いという感じで、どうやって行ったらええのかなというので困っ  
ていることが多いらしいんですけど、そういうことを聞いたので、また、住吉区でも利便性が  
あるんやけども、意外とバスとかなんかがなかなか、東西の便利が悪い場所なので、ちょ  
っとそこら辺をよく考えていただけたらいいかなと思っております。

以上です。

【中野委員】 老人会の中野でございます。このビジョンは大変よくできていて立派だ

とは思いますが、この中で大変気になったのが、2ページにあります、どうすれば若い人たち、担い手を増やせるのかということで、本当に具体的な担い手、若い人たちにここへ参画していただくためには、具体的にはどうすればいいのかというのが非常にこれは難しい問題なので、この辺についていい案があれば教えていただきたいと思います。

以上です。

**【浜田委員】** 浜田です。前回も言ったと思うんですけど、具体例がないというので、これはこれからの話なんですけど、私がちょっと最近思っているのはやっぱり8ページかな、課題のところで「街頭犯罪は増加傾向にあり」だとか「事故が多く発生している」というのがあって、最近ちょっと自分としてはそれが気になって、やっぱり生活する根底は安全に生活できることが一番かなと思うんです。だからそういうところから全てが進んでいくような気がするので、本当に住吉区は安心して住めるなど、犯罪のところをもうちょっとしっかり煮詰めていければいいかなと思っております。

以上です。

**【濱本委員】** あさか会の濱本です。お世話になっています。私が思ったのが前回お話しさせていただいたことを全部拾ってもらって、全部反映してくれるんだなということにすごくびっくりしました。ありがとうございました。また、小さい意見ですけど拾っていただければ助かります。ありがとうございました。

**【東委員】** 公募委員の東です。全体を見せていただいて、地域、関係機関、専門職、協働、連携、支援という文言がどのページにも散らばっているなという印象で見せていただいています。ここから具体策を作成される折には、どう協働するのか、どう連携するのか、どう支援するのかというところを具体的につくっていただけたらありがたいなということと、恐らくこれだけ地域であったり、関係機関がクローズアップされるという時代になってまいりましたので、行政の役割はこの中でどこを担われるのやろうとなったときに、恐らくのり代の部分であったりとか、つながりづくりの部分だったというかけ橋的な役割を今後行政には大きく求めていかれるのかなというところで、そこがとても私たちがつながり合うという部分で大事になるのかなと思いますので、その辺りを意識した具体策をつくっていただければありがたいなと思いました。

**【福留委員】** 福祉施設連絡会から参加させていただいています福留と申します。

私も実は東委員と同じようなことを考えていまして、すばらしい素案というか、今提案させていただいて、私たちの意見も反映していただいているところなんですけれども、具

体的なアクションプランを立てるときにやっぱり行政だけではなくて、どこと協働していくのか、そういうところから課題を抽出すると、こういう支援を行うということが書かれていても、具体的な文言がない限りまた縦割りになっていくようなことになるのかなと思いつつ、そう思ったときに26ページのアンケートに「住吉区に居住したい」と回答した区民の理由で「福祉が充実しているから」が4.2%で、「区外へ引越したい」と回答した理由のところで「福祉が充実してないから」はとても低いパーセンテージなんですね。

そういうところを見たときに、やっぱり私たちがちゃんと知られていないことが多いと思いますし、福祉施設としてやらなあかんという課題は自分に向けてやっていかなあかんと思いつつ、そういう連絡会でちゃんともんでいきたいなと思っているので、投げてくださいたらありがたいなと思いつつ聞いておりました。ありがとうございます。

**【榊野委員】** 公募委員の榊野です。先ほど問題提起はさせていただいて、区長さんから丁寧なご回答をいただきましたので、一応それで納得をいたしました。これを単年度のまた目標設定をする中で、先ほどちょっと希望で申しあげました、歴史的、文化的資源という住吉区の特徴というのは、例えば1の2であるとか、1の3であるとか、そういうことの実施の中で反映をさせていただければありがたいと思っております。

以上です。

**【山本委員】** 山本です。先ほども発言させていただいたのであれなんですけども、表紙のデザインを大学生にお願いするというのが非常に楽しみだなと思っております。ちょっと話をすると、僕が好きな言葉でアインシュタインが言った言葉で「同じことを繰り返しながら違う結果を望むこと、それを狂気という」という言葉がありまして、これは何を言いたいかというところ、ちょっと具体的な話で言うと、僕、今回9月30日にイベントをするんですけど、そのチラシというのが非常に分かりにくい、もうデザインだけで何をするとか全然説明が書いていないんですけど、何でそうするかというところほかの町でもマーケットとかのイベントをやったときに、すごいデザインだけのチラシをつくったんですね。やっぱりそれは出店者さんとか来る人には非常に不評というか「これでは何をするか分からないよ」ということを言われたりはしたんですけど、ただ実際に来られたお客さんとか、参加者の方に聞いたら「何のチラシなのかなと思いつつ手に取った」みたいなことを言っていたことがあって、これで何を言いたいかというところ、チラシとか、このビジョンとかもそうだと思うんですけど、デザインとかぱっと見で人は判断する部分があると思いつつ、ずっと話が出ている若い層を取り込むみたいなのところでは、要は違うターゲット

ットに届けるには、多分今までと違うことをしなければいけないのではないかなというところで、表紙のデザインを若い方をお願いして、デザインに凝るといのはすごいいいことなのかなと感じたというのが、それも含めて楽しみだなと思っています。

なので、そういう個別の人に打っているようなことは、結局は全体の適正化というか全体にいいことになるということが多分あると思うので、それが分かるような形で今後も丁寧に進めていただけたらいいのかなと思っています。楽しみです。ありがとうございます。

【和田委員】 和田でございます。将来ビジョンたくさんいろいろしていただいて、本当に私も地域で関わっているからすごくよく分かるんですけど、先ほどもおっしゃったようにバスの件なんです。本当に南の端ということで「バスがない」「病院にも行けない」「買物に行けない」ということが、月1回会議している中でそういう言葉がすごく今頻繁に出てきている状況なんですね。毎年年を取っていったら高齢者の方にとっては、これからどうしてあげたらいいのかなというのが悩みの1つかなと思っています。若い人はスマホとか、いろんなところで検索したりして分かるんですけども、お年寄りには本当に部屋に閉じ籠もって孤立している状況なので、病院へ行くにしても何にしても困っていらっしゃるということがあるので、また検討していただければありがたいかなと思っています。

以上です。

【荻野委員】 こんばんは、住吉区青少年指導員連絡協議会の荻野といいます。すみません、今まで会議に参加できなくて今回初めて参加させてもらって、ちょっと分からないことがいっぱいあるんですけども、取りあえず今感じたのが地域のつながりのところで、幅広い世代が参加するということと、地域活動の担い手の高齢化が進んでいるというところで、日々感じていることなんですけれども、子どもが小学校、中学校の間は地域とのつながりがある。高校でちょっと離れて、大学、社会人、20代、30代になったらほぼ地域のつながりがないのかなと。そこから40代、50代になったらまたPTAなり、青少年指導員なりに入ってきてくれはするんですけども、なかなか20代、30代を受け入れる枠組みであったり、団体が少ないので若い世代の参加が低いのかなというところは感じています。ですから、我々昔はユース世代というのがあったんですけども、ユースのいわゆる20代、30代の子が活動できる、入りやすいような団体があればいいのかなと感じました。

あと、ちょっとここからは暴論なんですけれども、当然、私も町内会に入っているんですけども、恐らくここから先10年、20年たったら町内会に入る人は今よりもっともっと減っていくと思います。ここにも書いていましたけれども、やっぱ入るメリットがないと、

入ろうが入るまいが恩恵は受けられる。NHKも一緒でお金払っても払わなくても見られますから。そんな感じなので、町内会費を払いたくないという方が結構おられます。めちゃくちゃな意見かも分かりませんが、もう町内会費というシステムをやめて、町内会に補助金をおろして町内会に入った人はその恩恵を受けられるようにしたら、不公平感がないのかなと思います。

以上です。

**【桶土井委員】** 住吉区PTA協議会の桶土井です。お世話になります。

先日、来年のすみよし文化フェスティバルの会議に参加させていただいたんですけど、それでその役員とか執行の方といろいろ相談していたんですけど、予算のほうがあるんですけども、昨今の物価の上昇とかでちょっと予算が足りないみたいな感じで、去年までやっていたところのブースを減らそうかなという案が出ていました。それよくよく仕方ないのかなと思って考えたんですけども、せっかく地域のつながりとか、ここに書いてあるようにコミュニティの場ですので、そういうとき何か予算的に不足という問題だったら、区役所のほうとかで予算の補助とか融通が利くようにしてほしいなと思っております。

以上です。

**【鍛冶本委員】** こんばんは、鍛冶本です。私も地域のほうで、今、活動させていただいておりますけども、様々課題はたくさんあるんですが、その課題に取り組もうと思ったらやっぱり若い担い手という、先ほどのビジョンの中にもありましたけど、若い担い手の方がボランティアという意識が本当に高まってきているとは言いつつ、現実やっぱり地域ではそこまで高まっていないのが現状で、ですので、本当に1つのことを取り組むのにも、どうしても同じ方同士でやらないと駄目だということで、お一人にかかる負担が大きいので、どうすれば若い方たちが同じ思いになって、地域をよくするかというところに取り組んでいただけるかということが、今本当に一番の大きな課題になるのかなと思っております。

先ほど平澤区長のほうからもおっしゃっていたように、本当に区役所が今まで全てやるということではなくて、今後やっぱり地域でもしっかりその地域を活性化させていくためにというお話がありましたけど、本当に自分もそう思う一人であります。なので、本当に地域でも若い世代のたくさんいる中で取り組んでいけるような、しっかり自分自身も案を出しながら、一人でも共有してくださる方を増やしていきたいというのが、この辺が

今の一番の課題ということで自分自身は思っています。

以上です。

**【繁田委員】** 保護司会の繁田と申します。同じことに続くんですけど、いかに若い人に、私は地活に属しております、町会に関わっております、若い人と我々年齢の格差がありまして、今後どう運営していくかというのがくどいようですけども、いかにこういう素晴らしいビジョンを上げていただいて、実施に向かう一番大事なところを行政の方と我々ももっと突っ込んだ現場を見ていただいて、うまく言えないですけども、より効果的なことが何とかできないものかと。

それともう1つ、私ら保護司会でちょっと寂しく思うんですけど、安心・安全と先ほどなたかおっしゃっていましたが、そういう面での協力はさせていただいて、当然、更生保護のことが我々主たる目的でございますけども、いずれにしても、最初に申しあげました若い世代との格差を現場サイドでいかに密に取れるか。細かいことを言いますと、今、町会で私らが分かっておるのは、夫婦で働いておられて、あとはもう年寄りだけ町会に残っている。あとは探して見ると中学生だけ。そういう構造の中で、本当の人とのつながりをどこで求めていって、みんなと協力し合えるか具体化できる一番大事なところを何とか皆さんと一緒に話し合えたらと思っております。ちょっと取り留めない話になりましたけど、よろしく願いいたします。

**【渡邊副議長】** 区の地域活動協議会の代表をしております渡辺です。

地活が10年前にできて、それからずっと代表をさせていただいて、先ほどから地域のいろんなことが出て難しいことばかりで、全くそのとおりだと思います。しかし、いろんな考え方があると思いますけど、今、住吉区では12地域あるわけでございますが、この間も10年たって地活の研修会を初めて会計と両方2回ずつやりましたんですけど、その中で12地域それぞれ違うんですね、先ほど意見がありましたように「交通が便利ですよ、それやから住吉が好きです」というところもあるし、先ほどのように「大和川に近い辺りは大変交通が難儀している」ようなところもありますし、個人個人でもありますし、団体でもありますし、いろんなことがあります。

例えば、町会へ入らない人にどうしようというようなことがありますけど、例えば、30室ぐらいのマンションが2棟ありまして、それができたときは町会へ入っていただきました。大体50ぐらいが町会へ入っていただいて、それが途中で持ち主がかわったら町会を脱退、それからはもう町会には出なくなった。そして、最近は病院の入院者のような人をそ

こへ入れるようなこともありますし、それは自由は自由なんですけれど、地域としたらやはり、防災、犯罪、どうしていいか、全然どうなっているか分からないようなところも来ておりますし、やはりそうなると地域の町会をはじめ、ほかの団体も含めて地域で細かく見ていくということは大変私は重要なことだと思います。

確かに連携してするのはいいですけど、まず、それぞれの団体が関係するところをしっかりと見ていろんな問題が出てきている、そういうことを頭に入れながら議論していく必要があるのではないかと考えております。先ほどから出ているように、いろんな町会を含め、地活を含めて改革いうかどうか分かりませんが、何かいい方法があったらそれにしてみえれば、それで済むとはなかなかいかないのが実情だと思っています。すみません、長くなりましたけど。

**【辻野議長】** どうも委員の皆様、ありがとうございました。

まず、今回このビジョンに関して、大枠、幾つか課題を指摘していただいているんですけども、全体としては我々のこれまでの議論を酌み取っていただきながら、つくっていただいているなということは、ご発言から私自身も感じました。ご指摘いただいているように、今、ビジョンが大枠の方針として合意が得られているところかなと思いますので、これから施策の具体化をしていくことになるかと思っておりますので、その中で今回出してもらったような課題をできるだけ反映していただきたいということがお願いとしてあります。

また、先ほど幾つか具体的にご指摘をいただいたことも、例えば移動の問題とか、ご高齢の方の足の問題とか、恐らくご高齢の一番困っている方が発言することがなかなかできないことを、今、和田委員がここに来てご発言いただいたと思うんですね。なので、そういうことに関して、恐らく予算のこととか、行政の立場から優先順位があったりということはあると思うんですけど、そういうことも出していただいて、またこちらで改めて議論させていただけたらありがたいなと思っています。

高齢の方の足と申したんですけど、当然ハンディを負っている、障がいを持たれている方とかが、なかなか意見を表明しにくい方々が地域社会には大勢おられると思いますので、そういう方々の意を少しでも代弁できるようにと思っていますので、よろしく願いいたします。

また、PTAの方からも予算が不足しているときに補助等をお願いできないかということがありまして、これは恐らく教育に関しても、福祉に関しても、それぞれのところが予

算に困りながらやりくりしていることかなと思います。全てのことに予算をつけるというのが無理だということは、恐らく我々委員も分かっているんですけども、どういう優先順位があるのかとか、何ができて何ができないのか、そういうことの議論はさせていただけたらありがたいなと思っていますので、引き続きよろしく願いいたします。

また、冒頭、梶野委員が間に言ってくださって非常に画期的でありがたかったなと思っています。文化、歴史に関することというのは非常に重要なことであって、特に住吉の地域の中でも特に大事にさせていただくことであるということは区長からもご答弁いただいたとおりかなと思いますので、そのことが反映できるかどうか。これは引き続きの検討課題になるかと思うんですけども、この項目の中に入れ込むかどうか、入れ込み方。入れ込むとちょっと気になるのは、やっぱり先ほどのご説明にもあるとおり「客観的、定量的に測定可能である」というようなことをおっしゃっているんですけど、恐らくこれは姿勢として市全体で求められているのかなと私は想像して聞いているんですけども、数値目標を設定して、それを達成すると。

ところが文化とか人の幸福とか暮らしとか子どもの成長とかそういうことに関して、軽々に数値化してそれが達成できたとかできないとかという議論をする危うさもあると私は思っていて、下位項目に入れるのがよいのかどうかというのは引き続き検討させていただくということとどめていただいて、冒頭の「はじめに」のところであっているというのは、これが最も重要であるということを確認されているのかなと思うんですね。だからその見え方をちょっと工夫していただくとか、下位項目にわざわざ入れないで、冒頭にうたっていることの重要性ということはあると思うんですね。それがちょっと伝わりにくいところがあったのかなという受け止め方を私はしましたので、また、引き続き改善できるところは改善していくという方向でどうかなと思います。

また、これも引き続き皆さんご意見いただけたらありがたいなと思います。何でもかんでも数値化したらいいかなということではないと思いますので、数値化できること、できないことがあって、また、すると弊害があることもあると思いますので、その辺り実を取れるようにしていけたらいいかなと思います。文化、歴史が大事にされるということが非常に重要であるということが確認されて、それが行政のビジョンの中でも伝わるような形になればありがたいなと思っています。梶野委員、こんな感じでもよろしいでしょうかね。

【梶野委員】 はい、ありがとうございます。

【辻野議長】 どうもありがとうございます。

また、皆さん引き続きご意見がある方いらっしゃいましたら、今日は時間の限りがございますので、この先に進めないといけないんですけれども、また意見をお寄せいただけましたらと思います。今後ともよろしく願いいたします。

【平澤区長】 区長の平澤です。委員の皆さん、また議長もいろいろと本当に幅広いご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。やはり皆様方のご意見を総括いたしますと、具体的な取組が重要であると。今回ビジョンということで柱立ていたしましたけれども、あくまでこれがゴールではなくてここからスタートで、具体的にどういう取組をしていくかというところが問われているのかなと思っておりまして、それは私どももそのとおりにしております。

今回、素案をつくらせていただきまして、それに沿って具体的にどういうことをしていけばここに掲げためざす状態にたどり着けるのかということは、意見いただきましたように現場で取り組んでいただいている皆様方のご意見であるとか「こういう地域の資源があるよ」といったご提示ですとか、そういったものをいただきながら具体的に詰めていって、また、「モデルプランをつくってみたらどうか」というご意見もありましたように、まずやってみて、そこで何かちょっと違うなということであれば、ちょっと違うことをやってみると。そういった形の取組をこの5年間でやっていって、最終的にめざす状態にたどり着けるようにやっていきたいと考えているところでございます。

また、今までいろんな団体と行政とで区政を進めてまいりまして、ただそれでも若い担い手が少ないという現状があると。町会の加入も減ってきているという状況もあるという中では、少し新しい手法を考えていく必要もあるのではないかと。ですので、今まで取り組んできた中身を決して全てやめるということではなくて、今までの取り組んでいるものにプラスして何か新しいことをやって、新しい担い手を増やしていくという形で進めていきたいという趣旨でございますので、この間いろんな団体にもご協力いただいております点につきましては、引き続きお力をおかしいただければ非常にありがたいと考えているところでございます。

また、バスの件につきましては、今回オンデマンドバス等の調査もさせていただきまして、26ページで委員のほうからも言及がございました、区民のアンケートで「交通の利便性が非常に高い」というところが住吉区に住みたいという理由では非常に高いと。なかなか具体的なソフト面の施策の充実というのがあまりモチベーションにつながっていないなというところ、我々としてもショックを受けているところもございますので、交通利便性

が高いというアドバンテージは生かしながらも、これからソフトの面、こちらにも力を入れていくことで住吉区に住みたい、住み続けたい、また、こちらに転入してきたいという人が増えるような取組は進めてまいりたいと考えております。

バスについては、現在、大阪市内でもオンデマンドバスを社会実験的な形で、4区ぐらいでたしか取組をしていたと思います。その取組が総括されましたら、今後どのように全市展開するかという検討にも入ると聞いておりますので、その状況も踏まえながら、また区内の状況も聞きながら、オンデマンドバスなりそういった交通の足の確保の件については検討を進めていきたいと考えておりますので、また、皆様方のご意見をいただければと思います。

また、歴史、文化というのは確かに数値で評価は非常にしづらいものということで、そして、むしろあまり数字で評価をすべきものではないと考えておりますので、具体的取組の中で発信をしていく形で、地域資源の活用ということで進めていきたいと区のほうでは考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

**【辻野議長】** どうもありがとうございました。本日はひとまずビジョンの策定、やり取り、毎回の議論を酌み取ってここに反映させていくというのは非常に難しい作業だったと思うんですけども、まず、複数の委員の方々がきちんと意見をこれまで「網羅的に反映していただいている」という感謝を述べられていましたので、非常に大きな一歩だったかなと思います。大変ご苦労はあったと思いますが、エンドレスな作業でも意見を言うのが我々の仕事なので、意見は言い続けさせていただきますけれども、ひとまずは本当にご苦労さまでした。また、引き続きブラッシュアップをどうかよろしく願いいたします。

それでは、本日の議案は全て終了しましたので、その他事項に入りたいと思います。区役所のほうからよろしく願いいたします。

**【北野（司会）】** 辻野議長、ありがとうございました。

それでは、次第のほうをご覧いただきまして、私からその他の事項につきまして、ご説明申しあげます。

その他の事項の1点目、第3回住吉区区政会議の開催日程についてでございますが、令和5年12月7日木曜日の午後6時30分より開催を予定しております。その他の事項の2点目、各会議開催日程ですが、令和5年度第1回住吉区総合教育会議は去る8月21日月曜日に開催したところでございます。また、令和5年度第2回住吉区防災専門会議は10月25日

水曜日に、令和5年度第2回地域福祉専門会議は11月2日木曜日に開催を予定しております。

なお、今年度は区政会議委員の改選がございますため、本日の会議が最後となります区政会議委員がおられますので、できましたら、お一言ずつお言葉をいただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

【辻野議長】 区政会議の改選ということで、本日、会議のご参加が最後となられる方々が複数いらっしゃるんですけども、よろしければ一言、本当にこれまでの議論にご参加いただいて、ご発言いただいて非常に感謝しているところですので、もしよろしければ一言いただけたら、そのご意向を今後も引き続き引受けながら進めたいと思っていますので、よろしければご挨拶をお願いできればと思います。

【北野（司会）】 そうしましたら、荻野委員、お願いします。

【荻野委員】 荻野といいます。今回、初めて参加させていただいて、すみません、今日で最後です。この将来ビジョンを拝見させていただきまして、今まで本当にかんがいの意見の交換があったんやろうなと思ひまして、皆さんのご努力に感謝いたします。私はこれで最後なんですけれども、また、青少年指導員の者が委員として参加させていただきますので、引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。（拍手）

【北野（司会）】 続きまして、桶土井委員、お願いします。

【桶土井委員】 何も分からずにこの会議に参加させていただいて、いろんなことを勉強してすごい自分のためにもなりました。意見は何でも言っているやと思つたら、ちょっと失言なんかもありながら「あっ」とか思ひながら、ちょうど今日は最後ということで、やっとなしに乗り切れたなと思ひています。

これからは地域の人になるんですけども、地域の人になりながらも一緒に住吉区を盛り上げていけたらいいなと思ひています。取りあえず皆さんと次にお会いできるのは、多分、区民まつりか何かだと思ひますので、またよろしくお願いします。これも流れるのでしょうか、今日はすごい緊張しました。何か特に笑いの要素もなかなかなくて、皆さんもちょうと持ち味が発揮できなかったのではないかと思うんですけども、こんなやつでもできたので、皆さんも区政会議をこれからも盛り上げていってほしいなと思ひます。ありがとうございました。（拍手）

【北野（司会）】 続きまして、島谷委員、お願いします。

【島谷委員】 島谷です。最初は私で務まるのかなと思ひて、とても不安な思ひで参加

させていただいたんですけども、そんなちっぽけな「一区民の意見が大切なんですよ」と区役所の方からおっしゃっていただいて、できることがあればという思いで参加させていただきました。この4年間本当にいろいろ勉強させていただいて、ここの会議で得た知識や知り合った方々は私の財産となりました。今後も地域のほうではいろいろと活動を続けていきたいと思っていますので、ここで得た知識や皆さんとの出会いというのを大切にしたい、活用していけたらと考えています。

こういう話合いがあって区政が成り立っているということをご存じの方は、本当に区民の方は少ないと思うんです。公募委員として参加させていただいて、私でもできたかどうかは分かりませんが、4年間務めさせていただいたので、公募委員の募集の広報が出ていたんですけども、本当に一人でも多くの方が広報紙を見ていただいて、応募していただいて、この区政会議に参加していただいて、こういう皆さんの思いがあって区政が成り立っているということを知っていただきたいと思って、本当に素敵な将来ビジョンの検討会で踏まえたことをこちらの案に反映させていただいて、みんなの意見が反映できている将来ビジョンが出来上がっているんだなと思っていますので、何かもったいないなと思ひまして、もっとたくさんの方々に参加してもらえたらなと思って、私もこれからいろんな方にお声かけして、もっと興味を持ってもらえるようにできたらとも考えています。どうも4年間ありがとうございました。(拍手)

【北野(司会)】 田中委員、お願いします。

【田中委員】 失礼いたします。商店会連盟からということなんですけど、あんまり商店街のことを言わずに済んでしまいました、すみません。今やらんといかんことと、将来的に見据えることと、きっちりと考えながら、本当に多岐にわたり将来ビジョンを考えていただいておりまして、本当にありがとうございます。これも絵に描いた餅ではなくて、実践ができるように、それが一番重要だと思いますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。(拍手)

【北野(司会)】 なお、佐藤委員と東山委員、南委員におかれましては、本日欠席となっております。

以上、7名の委員の皆様におかれましては、長期にわたり本区政会議にご協力とお力添えをいただきまして、本当にありがとうございました。

それでは、ここで本日ご出席いただいております議員の皆様より、一言お願いしたいと思ひます。

まず初めに、井上議員、お願いします。

【井上議員】 区政委員の皆さん、また区役所の職員の皆さん、長時間の会議大変お疲れさまでございました。また、退任される区政委員の皆さんも本当にお疲れさまでございました。私1人だけだったんですけど、くぼた先生が来てくださってよかったなと思っ  
ているんですけども、ちょうど今月の15日から決算議会が始まりますので、今日の皆さんの貴重なご意見を決算審査にもしっかり反映をしていきたいと思っております。

今年の夏は本当に異常な暑さでございましたけれども、4年ぶりに盆踊りが各地で開催されまして、私も各地域を回らせていただきましたけれども、本当に皆さんのほじける笑顔が大変印象的でございまして、特に子どもたちが各盆踊りで非常に多いなというのを感じました。ずっとコロナ禍で我慢我慢の連続でございましたので、やっぱり子どもたちは祭りが大好きですので、本当にコミュニティの再生、絆の再生がこれから進んでいくんだなというのを実感したこの夏でございました。これから今度は敬老会が各地でござい  
ますので、各地域の成功に向けて、区役所の皆さんもご尽力賜りたいと存じます。

最後にちょっと苦情のようなことになってしまって大変恐縮なんですけど、この夏、皆さんもご存じかもしれないですけど、区民ホールの空調機が故障してしまって、実は私の事務所にも「どうなっているんですか」ということで、キャンセルされたり、ほかの区のホールを借りたりというようなことが続出したようでございまして、実は私の息子も吹奏楽をやっているんですけど、各学校が演奏する、結局敢行されまして「めちゃくちゃ暑かった」と言っておりましたけれども、これは何も役所の皆さんを責めるつもりもござい  
ませんし、半導体が確保できないとか、あるいは工事関係の資材不足、人手不足というのが影響しているということ、客観的な条件の問題でございまして、ただやっぱり危機管理の問題として、今後ぜひこの教訓を生かしていただきたいと思っております。

やっぱり観測史上最高の暑さの中で、公共の施設で空調機が効かないということになりますと、万万が一災害が起きたときにまさか空調機が効かないところに誘導するというわけにもいかないと思いますので、ぜひ今後の教訓として、こういう時期に起きたときに何が  
できるのかというのを検証していただければと思っております。

実は長居のプールも夏休みに子どもが一番楽しみにしているプールができないと、これは経済戦略局に苦言を呈しました。「夏休み中に工事をするってどないやねん」と、「ちょっと時期外されへんかったんか」と、何かちぐはぐなことがこの間ございまして、私のところにもいっぱい相談、苦情が来たものですから、すみません、ちょっと余分なことでご

ございましたけれども、ぜひ今後に生かしていただきたいと思っております。本当にお疲れさまでございました。

【北野（司会）】 くぼた議員、よろしくお願いします。

【くぼた議員】 初めに到着が遅れてしまって申し訳ありませんでした。御堂筋線が重大な交通事故で、1時間半ぐらい御堂筋が大渋滞になっていまして、迂回して回っていたらこんな時間になってしまいました。申し訳ございません。

私、今所属していますのが民生保健委員といいまして、今日の朝にも大阪市の大きな単位で4年ぶりとなります高齢者福祉大会が盛大に行われました。私ども民生保健委員というのは高齢者の方であったり、福祉に関係している部門に顔を出させていただいて、お祝いをするんですけども、井上先生もおっしゃってました今回の夏祭り、盆踊りもフルスペックで開催できたということは、地元で生まれ育った身としては非常に感慨深く、また、当たり前だと思っていたことがこの4年間できなかった、でも、その4年間先輩たちが継いで継いで、何とかしてノウハウを今の時代に合わせて開催できたということは本当に喜ばしく思っております。

また、議員として何かできることはないかということで、日々いろいろな皆様のお声を聞きながら活動させていただいておりますので、引き続き忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。お話をさせていただく機会をいただきまして、ありがとうございます。お疲れさまでございました。ありがとうございます。

【北野（司会）】 それでは、最後に区長より一言お願いいたします。

【平澤区長】 住吉区長の平澤です。本日は本当に活発な議論をいただきまして、ありがとうございます。先ほども申しあげましたが、本日いただきましたご意見を踏まえて、本当に具体的にどうしていくのかというところを考えていかなければならないということ新たにしたところでございます。

また、この区政会議、その他いろいろな場におきまして、皆様方からご意見をいただきながら我々も一緒になって考えながら、住吉区の活性化に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

また、本日までご退任されます荻野委員、桶土井委員、島谷委員、田中委員、本当に長い間ありがとうございました。区政委員としては離れられますけれども、今後とも住吉区政を温かく見守っていただければと思います。また、いろいろなところでお会いする機会もあろうかと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもあり

がとうございました。

【北野（司会）】　これで本日の会議は全て終了いたしました。委員の皆様には円滑な会議の進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

ここで1点だけご報告がございます。今回の区政会議の会場の設営につきまして、本日、職場体験に来られておりました大領中学校の生徒さんにもお手伝いをいただきましたので、その旨ご報告させていただきます。

それでは、これで第2回区政会議を終了いたします。本日は長時間にわたりまして、どうもありがとうございました。

—— 了 ——